

設立趣意書

伊藤忠商事株式会社は 1858 年創業以来、社業の繁栄は国と社会の発展と共にあるべきものという基本認識に立って、国と会社の発展に寄与することを経営の理念として参りました。たまたま本年は当社の戦後再発足 25 周年を迎えることになりましたが、此の記念すべき年に当たって、上記の経営理念の一端なりとも具体化したいと念願する次第であります。

顧みると戦後、我が国は官民の努力によって、世界を瞠目させる程の急速な経済発展を遂げましたが、その反面、深刻な自然環境の破壊と社会連帯意識の低下という歪みをもたらしたことも認めざるを得ません。

特にこのような環境の変化は国と社会の次代を担うべき青少年に強い影響を及ぼし、幾多の問題を発生している次第で、青少年の育成のために、適切且つ広範な施策を講じることは刻下の急務であると考えます。

伊藤忠商事株式会社としては、以上の観点から、ここに、伊藤忠記念財団を設立し広く有識者の絶大なご協力を得て真に平和を愛好し社会的公正と信義を重んじる自主的精神に満ちた、心身共に健全な青少年を育成するため一臂の力を尽くそうとするものであります。

此の目的を達成するために伊藤忠記念財団は

- 青少年に関する諸問題の調査研究
- 青少年の育成に関する諸事業への助成
- 青少年に対する諸施設の提供
- 其の他本財団の目的の達成に必要な事業

を遂行して参りますが、此のため伊藤忠商事株式会社として初年度 5 億円を出捐し、更に為し得る限り財団基礎の計画的拡充を行い、10 年後にはほぼ 50 億円規模に到達せしめると共に事業内容もこれに即応して拡充せしめる決意であります。

昭和 49 年 9 月 17 日